



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

第 2820 地区

# HITACHI SOUTH ROTARY CLUB

【例 会 場】 要害クラブ TEL (0294) 36-2020  
 【例 会 日】 毎週火曜日 12:00~13:00  
 【事 務 所】 日立市桜川町 2-25-3 桜川第 2 ビル 201 号室  
 TEL (0294) 36-5074 FAX (0294) 37-2176  
 Mail: info@hitachi-south-rc.org



Weekly Bulletin  
週報 No.16

■会 長 荒 川 浩 信      ■副 会 長 池 澤 健  
 ■幹 事 小 笠 原 邦 浩      ■会 報 委 員 鈴 木 幸 一

本日の例会：令和 3 年 12 月 7 日（火）      【プログラム】クラブ協議会 年次総会 / 次期理事・役員選出

次 回 例 会：令和 3 年 12 月 14 日（火）      【プログラム】クラブフォーラム / 前期を省みて（会長・幹事）

## 例会報告

11 月 30 日（火）12:00 開会  
進行：須田会員

いたします。



## 会長の時間

## 荒川会長



会長の時間をいただきます。

米山奨学生 趙一さん、お久しぶりです。ようやく日本に帰ってきてくれました。今日は近況報告お願いいたします。

前回例会は、水戸ホーリーホック会長の沼田様の卓話でした。とても良いお話で、身に染みました。

今日は、パスト会長卓話です。石川悟パスト会長よろしくをお願いいたします。

以上、会長の時間といたします。ありがとうございました。



## 委員会報告

ロータリー財団委員会      朝日委員長

- 今月はロータリー月間でした。皆様よりご寄付いただき、目標達成いたしました。ご協力ありがとうございました。

会員増強退会防止委員会      石川委員長

- 皆さんに、入会の手引きを配布いたしました。勧誘よろしくをお願いいたします。

親睦活動委員会      千葉委員長

- 12 月 21 日は親睦夜間例会です。出席連絡を来週までをお願いいたします。



## 出席報告

滑川委員長

会員数	出席	欠席	出席率	MakeUp	修正	免除
29 名	17 名	12 名	65.38 %	9 名	100%	7 名



## 幹事報告

## 小笠原幹事



- 次週例会後、理事会開催となります。よろしくお願



## ニコニコ BOX

滑川委員長

- ◇ 石川悟先生、卓話よろしくをお願いいたします。  
荒川会長・小笠原幹事・石川國博・山本忠安・滑川孝則・千葉県三・須田 聡・川崎健輔・小野瀬裕・赤津幸作・塩谷和宏・鹿志村高道・星 勝治
- ◇ 卓話させていただきます。  
石川 悟
- ◇ 諸々お世話になりました。

木本貴一

☆ ゴルフ歴 24 年目にして初のホールインワンを達成しました。

池澤 健

☆ 来月 12 月 5 日サッカーの茨城県大会決勝戦があります。明秀学園対鹿島学園、3 年連続になります。明秀学園サッカー部にはぜひがんばって勝って全国大会に行ってください。

朝日正道



本日も多くの方からニコニコ BOX へのご協力 誠にありがとうございました



本日計 42,000 円

累計額 342,000 円



## プログラム

### 米山奨学生 趙一さんに奨学金授与



- お久しぶりです。中国に戻っていて、すみませんでした。隔離が 1 ヶ月あり大変でした。母はアメリカにいたので、家事を全てやってきました。
- もうすぐ日本で就職です。先日、インターンシップに参加してきました。これから日本で頑張ります。ありがとうございます。

### パスト会長卓話

石川パスト会長



- 今日は、薬の話をしたいと思います。
- その前に、卓話や講演の準備の話をしたいと思います。一番の肝は、スライドを作成したら 1 週間寝かせて見返すと良いスライドになります。

- 本題に入ります。
- まず、薬の作用機序です。
- 薬は、昔はビタミンや鉄分など、不足を補うものがほとんどでした。痛みをとる薬もありますが、根本を直すものではありません。最近の薬は、体の一部に「病気」を作って、症状の改善を図るものが多いです。
- 次に、薬の開発から販売までです。
- まず、基礎研究から始まり、動物実験、臨床試験に入ります。フェーズ 1 では健康な人に使います。安全性を確認するためです。フェーズ 2 は、患者に効果があるか、どのくらいの量が良いか試みます。ここまでが、治験と言われるものです。その後、フェーズ 3 として、多くの患者に使われます。
- 次に、薬品開発 最近の問題点です。
- 儲かる薬の開発ばかりになっています。病気を治さず改善されるものです。コレステロールや血糖値を下げるというようなものです。また、患者の多い疾患の薬の開発が多いです。
- 次に、薬の飲み方です。
- なぜ飲む時間が違うのでしょうか。空腹だと胃を荒らすものは食後に飲むことが多いです。血糖値や食欲増進の薬は食前です。多い質問は、水で飲まないダメですかということです。基本的には水で飲んだ方が間違いありません。ちなみにアルコールは、ほとんどの薬の効果を增强しますので気をつけてください。
- 次に、プラセボ効果です。
- プラセボとは偽薬と言われるものです。これは本当に効果があります。なぜ効くのでしょうか。痛みは不安で強くなります。不安を取り除くと緊張が解け、リラックスして良くなります。薬ではありませんが、痛い痛い飛んで行けというおまじないも同じ理由で効きます。
- 次に、薬物依存症です。
- 日常生活に支障が出ることを依存症と言います。抗うつ薬、睡眠薬が多いです。一気にやめず、少しずつ減らし、依存性の少ない薬に変えていかないとダメです。
- まとめとして、病気を根本的に治す薬はほんの一握りである。すぐ薬を出す医者は信用しないほうがいいかも。必要な薬はきちんと服用すること。飲んだらいいか分からない薬は相談を。
- 結論は、薬を必要としない元気な体を作りましょう。
- ありがとうございました。

会長の点鐘をもって閉会。